



上天草市立上天草総合病院

## 地域医療連携通信

あこ

上天草総合病院理念  
信頼される地域医療  
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)  
 電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547  
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19  
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)  
 URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>  
 Eメール: [kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp](mailto:kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp)  
 発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



## 赴任のご挨拶

いのうえ ひろき

## 内科 井上 大暉



皆さま、はじめまして。

このたび上天草総合病院内科に赴任いたしました、井上大暉(いのうえひろき)と申します。

出身は山鹿市菊鹿町ですが、大学は県外で過ごしました。見た目がちょっと大きめなので、友人からは「くまモン」と呼ばれることもあります(熊本には“本モン”がいらっしゃるので、私はあくまで“亜種”ということになるでしょうか)。

これまで阿蘇や小国などの地域で内科医として勤務し、一次医療から急性期、慢性期まで幅広く対応してまいりました。その中でも特に専門としているのが呼吸器内科で、喘息をはじめとする長引く咳に情熱を注いでおります。

咳というのは、「早く止めてほしい」「つらくて眠れない」と言われることも多いのですが、実は咳って、体にとってはとても重要な“防御反応”です。

異物やウイルス、炎症を感知して、「何かおかしいぞ」と体が訴えてくれているサイン。言うなれば、体の中の“正義感あふれるクレマー”のような存在かもしれません。少し過剰に騒ぎすぎることもありますが、その背景にはちゃんと理由がある。私はその“理由探し”を、患者さんと一緒に進めていけ

ればと考えています。

この病院では、まだ右も左も分からない“新参者”ですが、まずは「病院内で迷子にならない」ことを目標にしております。なお、すでに初日から病室のない方向に猛進してしまったことは内緒です(誰にも見られていないと信じたいところですが…)。

医療はチームで動くもの。私一人では何もできません。看護師さん、薬剤師さん、検査技師さん、リハビリの先生方、事務の皆さん、そしてもちろん患者さん——皆さんとの連携や信頼関係の中で、初めて成り立つのが医療だと考えています。これからは、地域の皆さまの健康を守る一員として、少しずつでも力になればと思っています。

咳のことはもちろん、それ以外のことでも「なんかこの人、話しかけやすそうだな」と思ってもらえたら、それだけで私としては第一歩大成功です。気軽に声をかけていただけたら嬉しいです、逆に何か困ったことがあれば、私も「肺活量全開」で駆けつけます。

ということで、まだまだ未熟者ではありますが、これからどうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。

(そして、もし本気で院内で迷っていたら、助けていただけると大変ありがたいです…)

# 赴任のご挨拶

よしおか ゆきひら  
眼科 吉岡 幸英



2025年4月1日より上天草総合病院に赴任となりました吉岡 幸英（よしおか ゆきひら）と申します。2022年3月に熊本大学を卒業し、同年4月より熊本労災病院にて2年間の初期臨床研修の後、2024年4月に熊本大学病院眼科に入局、1年間の熊本大学病院勤務を経てこの度の赴任となりました。

私は前任の古島先生と同じく、熊本県医師就学資金受給者、いわゆる地域枠の医師となります。熊本県における地域枠とは、『大学在学中に熊本県医師修学資金の貸与を受け、卒業後の一定期間(貸与期間の1.5倍に相当する期間)、知事が指定する県内の医師不足地域の病院等で勤務する』（熊本県ホームページより抜粋）という制度です。天草では上天草総合病院をはじめ、天草地域医療センターや湯島へき地診療所等の様々な病院や診療所、計10施設が指定されております。その中でも上天草総合病院眼科は症例数も多く、疾患の幅も広く、竹下先生をはじめ、視能訓練士の方々も診療・研究に熱心であり、私のような若手医師の指導の場として優れた環境が整っているため、こちらに赴任させていただきました。

上天草総合病院にて扱う疾患の幅は広いと申しましても、地域の皆様に一番身近なものは白内障かと思えます。白内障は眼の中の水晶体という、カメラで言うところのレンズの役割をする組織が、加齢をはじめと

した様々な原因により混濁し、視力低下などの症状を引き起こす病気です。直接命に関わる病気ではございませんが、見えないという状態は大きな苦痛を伴い、生活の質（Quality of life : QOL）を大きく低下させます。それだけでなく転倒などの事故のリスクも上昇し、間接的に命に関わる状態となる可能性もございます。そのため眼科では濁ってしまった生来のレンズを取り除き、新しく人工のレンズを挿入する手術を実施しております。人工のレンズには多くの種類があり、ピントが一箇所のもの、ピントが複数箇所あるもの、乱視を矯正するものなどがございます。上天草総合病院では取り扱う人工レンズの種類も多く、患者様のご希望を伺いながら最適なレンズを検討しております。執筆時点でこちらに赴任して2週間になりますが、眼内レンズ選択における、選択肢の多さ、検討に対する熱意、それを裏付けする知識など様々な面で圧倒され、刺激を受けております。少しでも多く吸収できるよう精進して参る所存です。

地域枠の医師は週に1日熊本市内の病院での研修日があり、私は金曜日に熊本大学病院での勤務となります。そのため、皆様とお会いするのは月曜日から木曜日の外来が中心になるかと思えます。竹下先生をはじめ、視能訓練士さん、看護師さん、他科とも連携をとりながら、少しでも皆様の見え方の一助となれるよう、真摯に診療に努めて参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 入学式を終えて

上天草看護専門学校 49期生 小田 菜月



私は将来、正確な知識と技術を身につけ、それらをしっかりと医療の現場で活かすための洞察力やコミュニケーション能力をもつ看護師になりたい。そのためにまず一年次では基礎知識の定着に努めたい。今後の全ての知識、看護技術につながる基礎をしっかりと固めていけるよう講義等の時間だけでなく、自分の時間を上手く活用しながら勉強にも力を入れて取り組んでいきたいと考えている。寮での生活が始まり、通学時間等が短縮されたため自分の時間を多く取ることができるようになったが、しっかりとメリハリをつけた生活を心掛け、有意義な時間にしていきたい。特に復習は毎日欠かさず行うようにし、分からないところをそのままにせず、必ず解決するように意識していこうと思う。暗

記ではなく根拠を明確にすることで一つ一つの知識を繋ぎ、理解を深めていきたい。高校生活の中で確立してきた自分の勉強法に加え、看護学を学んでいく中で自分に合った看護学習法を模索し、さらに専門性が増していく二年次、三年次の学習に備えていきたい。

また、勉強以外の面では日頃からあいさつや目上の方に対する敬語の使い方、周囲との積極的なコミュニケーション等を意識しながら生活し、人としてもさらに成長していきたい。困っている人に対しては自分にも出来ることを考え、行動に移すことで少しでも助けになれるよう意識する。同じ学年の仲間や先輩方、先生方の力も借りながら濃い時間を過ごしていきたい。



# 赴任のご挨拶

あくね ふみや  
内科 阿久根 章也



はじめまして。このたび上天草総合病院に赴任いたしました、阿久根章也（あくねふみや）と申します。熊本県合志市出身で、自治医科大学を卒業後、熊本赤十字病院で2年間の初期臨床研修を行ってまいりました。

学生時代から「地域に根ざした医療」を志しており、今回こうして上天草の地で働けることを大変うれしく思っています。自然豊かで、あたたかい人々に囲まれたこの地域で、皆さまの健康を支える一員として新たな一步を踏み出すことに、やりがいと責任を感じています。将来的には循環器内科を専門に学び、心臓や血管の病気に対して質の高い医療を提供できるようになることを目指していますが、今のご時世、専門分野にとらわれず、幅広い視野で診療にあたるのがますます求められていると感じています。

もちろん、高度な技術や専門的治療が必要な場面では、専門の先生にお願いする判断も重要です。しかし、その際には移動の負担や環境の変化が患者さんにとって大きなストレスとなることもあります。

だからこそ「その紹介が本当に必要なのか」「この地域でできることはないのか」を常に考え、できる限り地元で完結できる医療を提供することが、患者さんにとっての安心や信頼につながると信じています。私は将来循環器を専門にしながらも、地域に根差した総合診療医としての役割を大切に、一人ひとりの患者

さんに真摯に向き合っていきたいと思っています。精進しますのでこれからよろしくお願いいたします。

最後に少しでも医師として顔とは別に、自分自身のことも紹介させてください。私は少林寺拳法、カメラ、そしてキャンプを趣味としています。体を動かすことや自然の中で過ごす時間が好きで、特にカメラを持って自然の風景を撮ることは、忙しい日々の中で心を整える大切な時間です。上天草の海や山、美しい夕日や人の暮らしなど、ぜひカメラに収めながら、この地ならではの魅力を感じていきたいと思っています。休日には、地域のお祭りや行事にも足を運び、地元の方々とのふれあひも大切にしていけたらと考えています。

私事ではありますが、もうすぐ第一子を迎える予定で、家庭の面でも大きな節目を迎えようとしています。これからは医師としての責任に加えて、「父親」としての役割にも挑戦していくこととなります。まだまだ慣れないことばかりですが、地域の皆さまに見守っていただきながら、「パパ」と「ドクター」の両立に全力で取り組んでまいります。

まだまだ未熟な点も多く、学ぶことも多い日々ですが、上天草の皆さまとの出会いを大切にしながら、少しずつでも地域の力になれるよう精進してまいります。どうぞこれからよろしくお願いいたします。気軽に声がけいただけると嬉しいです。

## 研修会・勉強会の行事予定表

5月7日(水)	糖尿病教室 開催は中止します	14:00～ 当院6階講堂
	がんサロン 5/10(土)リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025くまもとに参加予定です	13:30～ 当院6階講堂
5月23日(金)	心臓リハビリテーション教室 心臓病と運動療法について	14:30～ 当院6階講堂

## 編集後記

○松島のほうから病院に向かっていると、左側に海、右に山が迫っていますが、山の頂が総じて、海側に片寄っているのに気づきました。天草は、堆積岩の上にASO4などの火砕流が乗ることもない土地です。何処かに、堆積層の露頭が無いか気にかけていたところ、龍ヶ岳の港付近にありました。写真の地層とその傾斜で、ケスタ地形と分かりました。海側が崩れやすいものの、海底では砂状の小石が広がっている場所もあり、ヒラメが釣れるようです。近くの自然に目を配ると色々なものが見えてくること

があります。さて、この「あこう」も経費削減の一環で、本号をもって一旦終わりになります。地域医療支援部（連携室）は存在しますので、引き続きよろしくお願いいたします。（細川）



# 5月 診療案内

※は、応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
<b>内科</b>	和田 正文 小林 博 井上 大暉	和田 正文 井上 大暉 阿久根 章矢	※岸川 秀樹 ※中村 太造	和田 正文 細川 貴規 小林 博 ※高柳 宏史	細川 貴規 阿久根 章矢 井上 大暉 (第2・4・5) ※福嶋 一晃 (第1・3)	
<b>代謝内科</b>	※阪口 雅司	-	-	-	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
<b>腎臓内科</b>	-	-	細川 貴規	-	-	
<b>循環器内科</b>	※東海 達也	脇田 富雄	小林 博	※山本 正啓	脇田 富雄	5/14(水) 5/16(金)
<b>外科</b>	-	-	-	-	-	
<b>小児科</b>	船曳 哲典	※檜村 哲生	船曳 哲典	※田村 博	船曳 哲典	
<b>婦人科(午前/午後)</b>	坂口 優子/ オンライン診療	休診/ オンライン診療	坂口 優子/ 休診	-	-	5/26(月)
※外来診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで) ※オンライン診療は、再診の方のみ予約診療となります。						
<b>整形外科</b>	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一	藤松 晃一	※鮎田 貴也	
※毎週火曜日・金曜日の診療開始は10時50分からとなります。						
<b>耳鼻咽喉科</b>	-	※熊大	-	※熊大	※熊大	
<b>眼科</b>	吉岡 幸英	竹下 哲二 吉岡 幸英	竹下 哲二 吉岡 幸英	竹下 哲二 吉岡 幸英	竹下 哲二	5/23(金)
<b>皮膚科</b>	-	-	-	※宮下 梓	-	
<b>泌尿器科</b>	-	西 一彦	-	-	西 一彦	
※毎週金曜日の診療は完全予約制となります。						
<b>超音波・ 内視鏡センター</b>	※石山 哲	※石山 哲	※大塚 郁弥 (8月まで)	※蔵野 宗太郎	※大野 健翔	
<b>歯科・口腔外科</b>	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※診療時間:(月)9時～11時30分、13時～15時30分 (火)～(金)8時30分～11時30分、13時～16時30分						
<b>教良木診療所 (午後)</b>	小林 博	-	応援	応援	井上 大暉	
<b>御所浦診療所 (午前)</b>	竹下 哲二	-	-	-	-	
<b>栖本病院 (午前)</b>	-	-	阿久根 章矢	-	-	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。

★令和7年6月からの診療案内は、[当院ホームページ](#)よりご確認ください。